

(3) 2025年12月15日 第1161号

ノーサイド

北原巖男

日本の国旗に係る動きについてでしようか。マスコミは、与党が来年の通常国会に向けて、日本を侮辱する目的で日本の国旗を損壊・除去・汚損した者に対する処罰を科す法案を提出し、成立を期する旨報じています。他国の国旗については如何

ての体験だった。
11月15日から26日まで、
「国際ろう者スポーツ委員会」
(=CISD: International
Committee of Sports
of Deaf) 主催の「東
京ノリコトハコンメ」へ
ク」が開催されました。日本
本での開催は初めてです。
1924年に第1回がアム

ソスのパリで開催され、降、4年毎に開催され、回の「東京2025デフォンピック」は、100周年の記念大会となりました。世界79の国・地域から、3000名の選手が2つの技に熱戦を展開。自衛隊の皆さん・ご家族そして紙読者の皆さんも、直接技会場に出向かれて、手や「サインエール」で応援された方が沢山おられるのではないでしょうか。(東京)

1名)が、初め
ピックに参加さ
ります。ちょうど1
年月26日、正式加
入14年7ヶ月を要
やく東南アジア
番目のASEA
なったばかりの
ル。加盟後、最
国際競技大会が

てデフリンた小さなボ
れたことでうちわ(両面
か月前の10月申請からT
して、ようE!を大き
で最後・11イトボードと
N加盟国と生テープ、ニ
東ティモー語の辞書、カ
初の大きな東ティモール
「東京20野球帽を着用

トド、応援用大
田にVIVA
とFIGH
OR—LEST
く明記)、ホワ
パン、紐、養
トゥン語と英
ダラ。当日は、
ル国旗が付いた
用して、自分と
きながら
国旗に見
「東テ
国際(う
ル国籍)、
可能にな
東ティモ
東ティヨ

一抹の寂しさを抱くない
も、色とりどりの
入っていました。
ハイモールは、まだ
者スポーツ委員会
にD)に加盟してい
回の「東ティモール
の3選手は、日本
ソティアセンター
援によって初めて
ピックへの参加が
ピールの代表として
ピール国旗の下に参
見えたものである。
見えない。
でした。

限り表現の自由もあるう自分に言い聞かせ、の観覧席の一番前に陣や、すぐに高さ1m位明な転落防止フェンスティモールの大きな国広げ、飾り付けました。にも何ヵ国かの国旗がられていましたが、こ自立つ。これなら選手さんからもほつきりとする。元気が出るに違い。頑張れ！そんな思い

国旗を巡る体験

大会の観客数は、入場料が無料だつたこともあるとは思いますが、人々の関心は高く、目標の10万人を大きく上回る28万人を記録したことです。

250デグリンピック」となりました。筆者も妻と一緒にパドミントンの試合会場「京王アリーナ TOKYO」(東京都調布市)へ応援に参りました。予め用意した応援グッズは、試合会場で掲げる大きな東ティモール国旗、国旗の小旗、国旗を印刷し、予め聞きました。

「万全の構えで、出かけた」と、西畠は、
「面ある競技」の如きに参加する
の写真が、ズラッと並んで表示されて
いたところを国旗はありますせんと
そこには東ティモールの

Dの旗の位置付け試合時に加ーも、旗や東テ入ってい
約はあるる筆者た

——観客席で応援する
東ティモールの「
YI MOOR」の国名
ではない。I.O.
下に個人参加す
るである。このため
着用するユニフォ
ーミには、そんな
まい、秩序を乱

各コートに審判員に先導された選手の皆さんのが入場。場内アナウンスは、東ティモールの選手についてのみは、国名を挙げ名前のみの紹介。雷光掲示板も、対戦相手は、カラフルな国旗と国名も掲示されるのにに対し、東ティモールは選手の名前のみ。ユニフォームも

裏の
※印に続ぎます

※



馴染みの無いデザインのもの
の身に付けています。背
中のアルファベットは、國
名のTIMOR-LEST

EではなくICSD。

オリンピックなどでロシ
ア選手が個人の資格で参加
を許された等のニュースを
思い出し、国際競技大会で、
個人としての参加というの
は、こういうことなのかも
筆者は初めて思いりまし
た。ロシアと東ティモール
は、事情は全く異なります
が、"東ティモール国籍"
の選手が、身に付けるユニ
フォームから、選手紹介に
至るまで、「東ティモール」
を一切表に出すことを禁じ
られている異様な光景。き
つと国際競技大会のルール
では当然なことなのでしょ
う。"東ティモール国籍"の
3選手も、予め了解した上

で参加を決めたと思います
が、筆者にとっては大きな
ショックでした。

一人の大会関係者の方が

近づいて来ました。そして、
大きく広げて飾り付けた東
ティモール国旗を直ぐに撤
去するよう指示を受けまし
た。応援であってもダメと
のことでした。やむなく取
り外しました。ただ、手元

で振っている東ティモール

国旗の小旗については、使

用を許してくださいと強く

申し上げました。その場で

のOKは頂けませんでし

た。しばらくしてから、よ

うやく了解が出来ました。

競技については、残念な

経験を聴覚障害者の状況改

善に役立てたいと意気込む

がら3選手とも1回戦敗退

わお) 元防衛施設庁長

でしたが、最後まで全力ブ

イド」をご覧いただきあ

への理解 母国でも諦めな

りがとうございました。

刊は、選手たちが日本での

皆様には、良い新年を

1年間、拙稿「ノーサ

イモールから参加」障害

トイド」をご覧いただきあ

りがとうございました。

訪問・聴覚障害者の皆さん

繋がって行くことを願つ

た11月25日付け朝日新聞夕

て止みません。

刊は、選手たちが日本での

お祈り申し上げます。

お祈り申し上げます。

(ご挨拶)

北原 延男(きたはら わお)

元防衛施設庁長官。元東ティモール大

福社関係者に伝えたい」と使。現日本東ティモール

の手話通訳者の話を紹介 協会会长。(公社)隊友

会理事